

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科											
音楽基礎 3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	稗島			実務 経験	有	職種	ミュージシャン・エンジニア				
授業概要											
音楽制作に携わる人として必要な音楽基礎知識、音楽理論、音楽に関する文化、音に関する知識を学ぶ。譜面から情報を読み取る能力をつける。音やリズム、楽譜に関する知識、用語、理論を身につけ、そして知識を覚えるだけでなく、音楽の背景にある科学、世界の文化や知識を得ることで、幅広い対応ができるスキルを身につけることを目的とする。											
到達目標											
音響の仕事に就く際、採用試験対策として必要な音楽のコミュニケーションツールとしての譜面を理解できるようになること。譜面の構成の仕方、音符休符の種類、リズムの表記法、音名を理解し、それらを読むことができること。音楽用語、標語、記号を覚えて書くことができ、活用できるようになることを目標とする。											
授業方法											
1年次の復習を交えながら学習する。覚えるべき重要箇所は板書してノートに書き取り進める。授業内容によっては必要に応じてプリントを配る。授業後半では理論を覚えるだけでなく音楽への見識を広く得るために、音楽ジャンル分析や研究、画像で楽器の形を見たりその音を聞いたりし、その名前、性質や歴史などを学習する回を設ける。レポートを提出を行うこともある。											
成績評価方法											
期末試験 80%・他 20%は課題・小テスト・レポート・平常点を総合的に評価。											
履修上の注意											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。必ず筆記用具、ノート、五線譜を用意すること。授業で使用したプリントやノートはいつでも振り返って確認できるように学んだ順にファイルして毎回の授業で持ってくる。他、学生心得に準ずる。											
教科書教材											
適時プリントを配布											
回数	授業計画										
第1回	音楽知識確認テスト これまでの音楽的な理解度を確認する。										
第2回	音符、休符の種類、書き方 五線譜、小節線、音部記号、音符、休符についてわかる。書くことができる。										
第3回	拍子とリズム 付点音符、付点休符、複付点音符、複付点休符についてわかる。書くことができる。小節と拍子の表記についてわかる。拍子と強弱がわかる。アウフタクト（弱起）がわかる。										

第4回	シンコペーション（切分法）を含んだリズム これまでのリズムとシンコペーションの読み方がわかる、
第5回	3連符を含むリズム これまでのリズム表記の復習と3連符がわかる。書くことができる。
第6回	小テスト これまでの復習とまとめ。小テストでチェックして、理解してなかったところ覚えてなかったところをわかるようにする。
第7回	速度に関する表記、記号、標語 速度記号、速度表記、標語の意味がわかる。書くことができる。
第8回	記譜法（1） 楽器研究 音名（固定ド）、ト音記号、ヘ音記号、変化記号の意味がわかり、書くことができる。楽器の知識を得る
第9回	記譜法（2） 楽器研究 反復記号、ダイナミクス記号、略記法の意味がわかるようになる。書くことができる。楽器の知識を得る
第10回	記譜法の小テスト 楽器研究 記譜法の復習と小テストで理解してなかったところ、覚えてなかったところをわかるようにする。楽器の知識を得る
第11回	音程（1） 楽器研究 度数と長短 楽器の知識を得る
第12回	音程（2） 楽器研究 長短、完全音程 楽器の知識を得る
第13回	音程（3） 楽器研究 減増音程について 楽器の知識を得る
第14回	音程小テスト 楽器研究 音程の小テスト。できなかつたところをわかるようにする。楽器の知識を得る。
第15回	前期まとめ 前期の重要な箇所のまとめで、理解してなかったところ覚えてなかったところをわかるようにする。楽器ジャンル分類。